

認知症の理解を深め、市民サービス充実へ 市職員対象『認知症サポーター養成講座』を初開催（6/28）

龍ヶ崎市では、市民サービスの向上の取り組みの一環として、市職員を対象に認知症への理解を深める『認知症サポーター養成講座』を平成30年6月28日（木）に実施します。

この事業は、認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進として、国（厚生労働省）が進める「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」に基づき取り組んでいます。



「認知症サポーター」は、市町村が実施する『認知症サポーター養成講座』を受講した人が、認知症への理解を深め、友人などに知識を伝えたり、認知症の方や家族を温かく見守る支援者になる取り組みです。90分間の講座を受講後には、認知症サポーターとしての証である「認知症サポーター証」及び「オレンジリング（写真）」を配布します。

本市では、これまで主に対応の窓口となる高齢者福祉部門の職員が講座を受講してきました。しかしながら、我が国の高齢者の増加に伴い認知症の方が増えることが予測されていることから、今年度は初めての取り組みとして、市全部署対象の職員向け講座の開催を決定。当日は約70名が参加する予定です。

また、本市では、これまでも各種団体、企業並びに医療機関等を対象に『認知症サポーター養成講座』を実施。延べ3,262名が「認知症サポーター」になっています。

■ 日 時	平成30年6月28日（木） 午前9時から午前10時30分まで
■ 場 所	龍ヶ崎市役所 附属棟1階会議室（所在地：龍ヶ崎市3710）
■ 参加者	龍ヶ崎市役所職員 計 約70名

担当課	龍ヶ崎市 健康づくり推進部 健幸長寿課 地域包括支援センター 担当者：古谷・山口・糸賀（ふるや・やまぐち・いとが） 連絡先：0297-62-8686（直通） 0297-64-1111（内線277・279）
-----	---